

〔續日本紀桓四〕延暦十年八月壬子攝津國百濟郡人正六位上廣井造眞成賜姓連、

〔續日本後紀仁一〕天長十年四月己卯以攝津百濟郡荒廢田廿七町野賜源朝臣勝、

〔細川兩家記〕高國川細方の衆切まけて大將分皆々討死する、雜兵以下三百餘人死するなり、殘る勢はいづみの境へ漸々逃入也、然ばその日七永正八年に澄元川細方欠郡中島まできり上る、中略

一同文十二年十月十二日に氏綱川細欠郡内喜連杭全と云處へ御出張候へども、泉州横山合戰玉井總じて引退候間、同十九日に則氏綱も御歸陣也、然ば世上しづか也、

〔細川兩家記〕同年永祿二廿九日に南河内喜連杭全と云處へ、三好慶長方又陣替候也、

東生郡

〔攝津志三〕東生郡東至河州、西至西成郡、南至住吉郡、北至江、茨田三郡界、

〔聖德太子傳曆上〕推古天皇元年四月中略本願緣起三中略法華勝鬘兩部經典、六節講演、其供養料、以東生郡陸箇坪水田應輸物獻供而已、下略

〔續日本紀聖一〕天長六年三月丁丑免供奉難波宮東西二郡今年田租調、自餘十郡調、

〔東大寺小櫃文書上〕東大寺三綱牒 攝津職

家壹區地參町陸段貳伯肆拾玖步 東生郡三町三段 今檢益百十五步 西成郡地三段二百冊九步 中略

天平寶字四年十一月十八日名略

〔今昔物語二〕攝津國殺牛人依放生力從冥途還語第十五

今昔攝津ノ國東生ノ郡捶凹ノ村ト云フ所ニ住ム人アリケリ、

西生郡

〔攝津志四〕西成郡東至東生郡、南至住吉郡、北至島下、西至海濱、

〔東大寺正倉院文書十四〕攝津國正稅帳

西成郡

天平七年定穀壹萬貳仟貳伯貳拾肆陸斗陸升漆勺伍撮